

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2023 年 6 月 5 日作成 第 3.0 版

研究課題名	造影 CT 画像を用いた大腿骨と大腿深動脈貫通枝との位置の検討
研究の対象	2020 年 3 月から 2021 年 3 月までに当院で片側変形性股関節症に対して人工股関節全置換術を施行した患者さんで、かつ術後に造影 CT を撮影された患者さん 2016 年 12 月から 2021 年 3 月までに当院で 1 期的の人工股関節再置換術を施行した患者さんで、かつ術後に造影 CT を撮影された患者さん
研究の目的	大腿深動脈損傷は人工股関節全置換術や骨折手術において、股関節周囲手術の重篤な合併症の一つです。特に骨折手術における髓内釘の遠位皮質骨スクリュー挿入時や、人工関節手術時の大腿骨締結ワイヤリングに伴う大腿深動脈損傷の報告が近年増加しております。今回、造影 CT 画像を用いて後方視的に解剖学的に実際に手術を行う箇所に限局して観察し、大腿深動脈損傷のリスクを低下させることを目的としました。
研究の方法	実際の既存の造影 CT 画像を用いて大腿深動脈の血管走行を数値化し、位置の平均を検討します。通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 西暦 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 1) 背景情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴 2) 画像検査：術後 1 週間での骨盤から膝下にかけての造影 CT 検査（大腿深動脈貫通分枝の位置について大転子頂部からの高位と、大腿骨から見た方角、小転子と大転子頂部までの距離、小転子下での大腿骨と大腿深動脈との最小距離、大転子頂部から 140mm の位置での大腿骨と大腿深動脈との最小距離、計測側の大腿骨の回旋） 3) 手術情報：病名、術式
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう対応表とよばれる個人と識別コードを対応させた表を作成しますが、その表は当院外へ提供することはありません。
試料・情報の管理について責任を有する者	研究責任者：横浜市立大学附属病院整形外科 崔賢民

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

<b>利益相反</b>	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。</p> <p>本研究は、大学の基礎研究費を用いて行います。本研究で開示すべき利益相反はありません。</p>
<b>研究組織 （利用する者の 範囲）</b>	<p>【研究機関と研究責任者】</p> <p>横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）崔 賢民</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）崔 賢民</p> <p style="text-align: right;">（問い合わせ担当者）稗田 裕太</p> <p>電話番号：045 - 787-2800（代表）      FAX：045 - 231 - 1846</p>	